



画面の選択



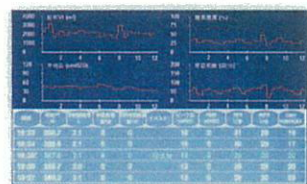
- ①操作パネル左上の画面選択 を押します。
- ②スクリーンの選択が表示されます。
- ③表示する画面のキーにふれます。



- ループを表示する時は、**ループ** にふれます。
ループ波形が2つ同時に表示されます。



- 数値を表示する時は、**モニタ(数値)** にふれます。
15種類の測定値が同時に表示されます。

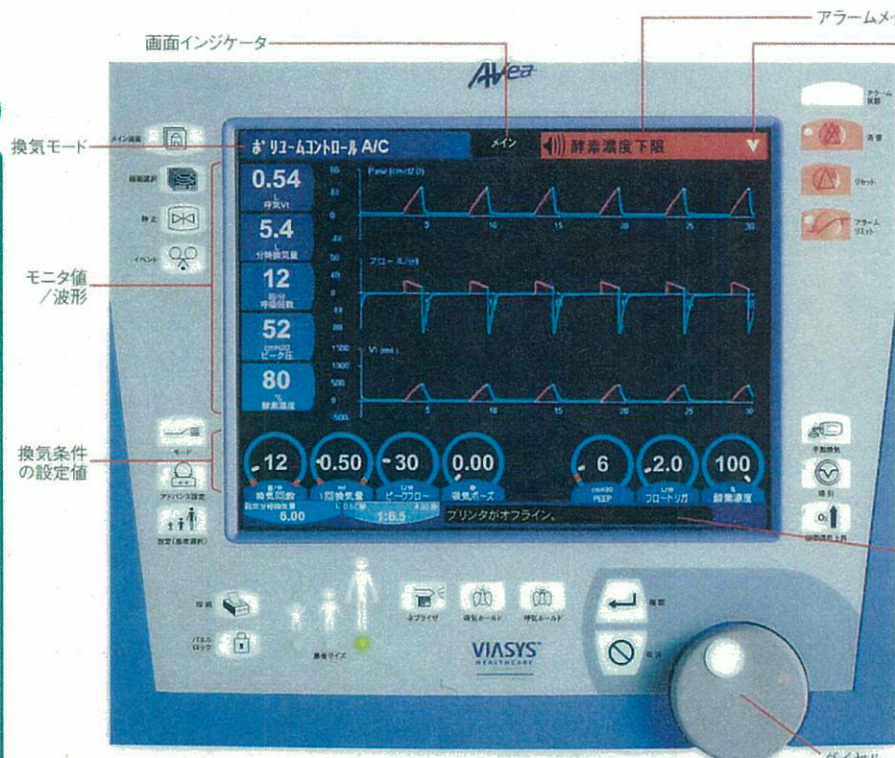


- トレンドを表示する時は、**トレンド** にふれます。
ヒストグラムと数値で、最大24時間分を表示できます。

波形のスケール変更



- ①変更する軸(X軸、またはY軸)にふれます。
- ②黄色表示になったら、ダイヤルでスケールを調節し、**確認** を押し、変更を確定します。



アラーム

アラームが作動した時は、インジケータが点滅し、画面右上にメッセージが表示されます

- 高優先 [警告]** 赤色の高速点滅。6秒毎のアラーム音。迅速な対応が必要です。
- 中優先 [注意]** 黄色の低速点滅。20秒毎のアラーム音。
- 低優先 [助言]** 黄色。点滅なし。単発のアラーム音。

高・中優先アラームの表示一覧

安全弁オープン	安全弁が開いています
作動不良	電源またはガス供給停止などにより作動停止。患者さんは安全弁より室内空気を吸えます
供給エア圧が不足	エア供給圧が1.2気圧以下
供給酸素圧が不足	酸素供給圧が1.2気圧以下
供給ガスが不足	すべてのガス供給が失われています
低圧	気道内圧がアラーム値以下。リーク、回路の異常、チャンバの破損、自発呼吸の減少の有無、トリガ感度を点検
高圧	気道内圧がアラーム値を超えています
高圧連続	高圧アラームが5秒以上継続
PEEP下限	ベースライン圧(PEEP)が0.25秒以上、PEEP下限アラーム値より低下したままになっています
分時換気量下限	分時換気量が減少。リーク、回路の異常、チャンバの破損、自発呼吸の減少の有無、トリガ感度を点検
分時換気量上限	1回換気量がアラーム値を超えました
1回換気量下限	1回換気量が減少。リーク、回路の異常、チャンバの破損、自発呼吸の減少の有無、トリガ感度を点検
無呼吸間隔	設定時間(1~60秒)内に機械換気も自発呼吸もありません
呼吸回数上限	モニタ中の呼吸回数の合計が、アラーム設定を超えています
酸素濃度下限	吸入酸素濃度が低下。酸素供給圧を点検
酸素濃度上限	吸入酸素濃度が上昇
呼吸回路はずれ	呼吸回路がAVEAまたは患者さんからはずれました
バッテリー電圧低下	内部バッテリーによって安全に稼働できる時間が残り2分以下
AC電源停止	AC電源からの電源供給が停止

あとがたづけ

人工呼吸器チェックリストを参照してください

- ①呼吸回路をはずし、洗浄・滅菌します。パーツの欠品、傷みのないことを点検してください。
- ②加温加湿器のチャンバは廃棄します。再使用した場合、加湿能力が低下し、痰の粘調化、気道閉塞、詰まりなどの原因となります。
- ③耐圧ホースや接続部に不具合や破損のないことを確認します。本体が「OFF」の時は、万一のガス混合を防ぐため、配管から耐圧ホースを抜いてください。
- ④内部バッテリーの放電を防ぐため、電源プラグをコンセントに接続しておいてください。
- ⑤破損した箇所のないことを確認します。薬液や血液で汚染された箇所があれば、清拭してください。
- ⑥本体と加温加湿器についての取扱説明書が、いつでも見られるようになっていることを確認してください。

回路の滅菌・消毒方法

フィルタ (吸気側、50回まで)	オートクレーブ(121°C)
呼気フィルタ(25回まで)	オートクレーブ(121°C)
呼気カートリッジ	イソプロピルアルコールで表面を清拭
新生児用の熱線式フローセンサ(30回まで)	酵素系洗剤、オートクレーブ(132~138°C)
温度プローブ	EOG、薬液消毒(イソプロピルアルコールなど)
本体	滅菌できません。イソプロピルアルコールで表面を清拭
スムーズボア蛇管	ディスボアザブル製品は廃棄。再使用タイプの場合は、オートクレーブ、薬液消毒、EOG、パズツール殺菌

(注) 温度、時間などについては個々の製品の添付文書を参照。

メンテナンス・保守点検

- 患者さんに使用する前のユーザーによる機能点検(チェックリスト、自己診断など)、IMI(株)認定のエンジニアによる6ヶ月毎、1年毎の定期保守点検が必要です。次回点検シールを見て、所定の定期保守点検を実施してください。詳細は別冊の取扱説明書を参照してください。
- 内部バッテリー(フル充電)で約1時間、AVEAと内蔵コンプレッサ併用で30分作動します。この内部バッテリーが放電状態にならないように、使用後も常にAC100V電源につないでください。